

近代動物画の冒険

ADVENTURES IN MODERN ANIMAL PAINTING

上：春月左邊 大正五年（一九一六） 京都府美術館
 中：あじく 昭和七年（一九三二） 京都府美術館
 下：青銅器時代の動物（複製） 明治四十四年（一九三一） 明治田舎

住友コレクション
泉屋博古館
 SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

東アジア
 文化都市
 2017 京都
 EAST ASIAN CULTURE METROPOLIS 2017 KYOTO



木島櫻谷

KONOSHIMA OKOKU

生誕140年記念 特別展

休館日 月曜日
 開館時間 午前10時～午後5時
 （入館は午後4時30分まで）
 入館料 一般800円、高大生600円、
 中学生350円（小学生以下無料）
 ※企画展・青銅器館両方ご覧いただけます。
 *20名以上は団体割引20%、障がい者手帳ご提示の方は無料
 主催 公益財団法人 泉屋博古館、
 公益財団法人 櫻谷文庫、京都新聞、BSフジ
 協力 毎日放送、株式会社 Zappライフ
 後援 京都市、京博連、京都市教育委員会
 公益社団法人 京都市観光協会
 併設 青銅器館「中国青銅器の時代」
 青銅器館は、毎日ミニシアムボランティアによる解説があります。

2017 10/28 SAT 12/3 SUN

明治から昭和にかけて活躍した京都の日本画家木島櫻谷(1877-1938)。2013年の久々の回顧展では平明で清澄な画風が反響をよび、再評価の気運が高まっています。生誕140年を迎える本年、眠りから覚めた京都画壇の暁星、木島櫻谷の特別展を新たに開催します。

どこかものいたげで、優しいまなざし―鷲、獅子から鹿や猫まで、木島櫻谷の描く動物たちに共通する特徴です。円山・四条派の今尾景年に師事した櫻谷は、20代で頭角を現し、明治後半から大正期にかけて文展の花形として活躍しました。画業のなかで、最も高く評価されたのが動物画です。それは徹底した写生を基礎に、卓越した技術と独自の感性により創造された生命―精緻な動物の表情は気品と情趣にあふれ、今なお人を惹きつけてやみません。本展では彼の描いた動物に着目し、代表作とともに近年続々と見出された未公開作品をあつめ、多様な表現とその変遷をたどりま。



上右: **初公開** 熊鷹図屏風(右隻)
明治後期
上左: **初公開** 猛鷲図 明治36年(1903)
株式会社千總
左: **初公開** 獅子虎図屏風(右隻)
明治37年(1904)



鍍付きトランクには
貴重な
天然岩絵具



POINT 2
西洋画の立体感、
油彩風のタッチ。
もはや「ライオン」が
ふさわしい？!



POINT 3
造られた絵具や絵面の
調査から見えたのは、
新たな画材への挑戦!



POINT 1
写生を何より重
んじた櫻谷。今に
伝わる写生帖は
およそ500冊!

KONOSHIMA OKOKU 木島櫻谷 近代動物画の冒険 MODERN ANIMAL PAINTING

「木島櫻谷の世界」
京都文化博物館
2017年10月28日(土)〜12月24日(日) 月曜休館
問い合わせ先: 京都文化博物館 京都市中京区三条高倉
電話 07512210888
親交した京都の旧家から発見された作品を紹介。

「京都指定文化財―木島櫻谷旧邸特別公開」
櫻谷文庫
2017年10月28日(土)〜12月3日(日)の金・土・日祝 開館
問い合わせ先: 櫻谷文庫 京都市北区等持院東町56
電話 075146119395
大正期、自ら設計に関わった櫻谷 理想の住まい。

連携
展示
京都
この秋櫻谷つくし!



よみがえった
幻の文展出品作

右: 獅子図 昭和時代 櫻谷文庫
上右: **初公開** かりくら 明治43年(1910) 櫻谷文庫
上左: 孔雀図 昭和時代 櫻谷文庫
左: 寒月 大正元年(1912) 京都市美術館

牙えわたる月光、
その色彩の秘密は?!



住友コレクション
泉屋博古館
SEN-OKU HAKOKAN MUSEUM
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL 07517116411
http://www.sen-oku.or.jp

会期中のイベントにはいずれも入館料が必要です

列品解説
午後2時より展示室にて学芸員が行います
10月28日(土) 廣川 守「中国青銅器の時代」
11月4日(土) 実方葉子「木島櫻谷の動物画」

講座 会場:当館講堂/当日先着1000名様
「木島櫻谷の生涯と動物画」
11月25日(土)午後1時30分〜3時
実方葉子(泉屋博古館学芸課長)

ワークショップ 参加費1500円
定員:30名要予約、電話07517116454

特別講演会 会場:当館講堂/当日先着1000名様
「櫻谷の動物画―美しき存在」
11月18日(土)午後1時30分〜3時
竹内浩一(日本画家)

講演会 会場:当館講堂/当日先着1000名様
「櫻谷遺愛の絵員からわかること」
11月11日(土)午前11時〜12時
高林弘美(京都市立芸術大学准教授)

日本画の新絵具開発が進んだ近代。
櫻谷の模索の跡を最新の研究成果でたどりま。

ワークショップ 会場:当館講堂/要予約
「櫻谷の描き方を追体験しよう」
宇野茂男(京都市立芸術大学教授)
11月11日(土)午後1時30分〜3時30分

櫻谷の画材研究からみえてきた筆づかいや彩色法。
作品の模写を行うことで独特の表現に迫ります。

BSフジ 特別番組放映決定! 詳しくはFacebookで。